

家畜排せつ物の年間発生量の記録

農場名： _____ 年度： _____ 記入日： _____ 記入者： _____

畜種	区分	平均的な飼養頭数 (頭) ※鶏は千羽	1頭（鶏は千羽）当 たり ふん (t/年)	1頭（鶏は千羽）当 たり 尿 (t/年)	ふんの量 (t/年)	尿の量 (t/年)	合計 (t/年)	備考
乳用牛	搾乳牛		16.6	4.9				
乳用牛	乾乳牛・未経産牛		10.8	2.2				
乳用牛	育成牛		6.5	2.4				
肉用牛	肉用種 2歳未満		6.5	2.4				
肉用牛	肉用種 2歳以上		7.3	2.4				
肉用牛	乳用種		6.6	2.6				
豚	肥育豚		0.77	1.39				
豚	繁殖豚		1.20	2.56				
採卵鶏	6か月齢未満（千羽）		21.5					
採卵鶏	6か月齢以上（千羽）		49.6					
ブロイラー	（千羽）		47.5					
馬			8.4	1.8				
合計								

- 飼っている畜種の行に、平均的な飼養頭数（鶏は千羽単位）を書きます。平均的な飼養頭数は、その年の2月1日現在の頭数か、その年と前年の2月1日現在の平均などを使います。Excel ではふん・尿・合計の欄に計算式が入っていて、頭数を入れると自動で計算されます。
- 1頭（千羽）当たりの量は、農林水産省の記録方法のパンフレットに示された標準的な量です。実際の発生量は飼料の給与量などで変わります。
- 牛・馬10頭以上、豚100頭以上、鶏2,000羽以上を飼う畜産業者は、管理基準により、年間の発生量・処理の方法・処理の方法別の数量の記録が必要です。処理の方法は別シートに書きます。
- 記入例は、搾乳牛40頭規模の酪農家を想定した架空の値です。

家畜排せつ物の処理の方法と処理の方法別の数量

農場名： _____ 年度： _____ 記入者： _____

処理の方法	ふんの割合（割）	尿の割合（割）	主な処理（堆肥化・乾燥・浄化など）	渡した先・使った先	備考
① 自家で処理し、自分の経営内で利用					
② 自家又は経営外で処理し、経営外で利用（堆肥センター・耕種農家など）					
③ 浄化処理施設で処理					
④ 焼却施設で処理					
⑤ その他（ ）					
合計（10割になるように）					

- 年間の発生量を10割として、過去1年間の処理の方法ごとのおおまかな割合を書きます。国の記録方法では、この割合を処理の方法別の数量として扱っています。
- ふんと尿を混ぜて処理している場合や固形物として処理している場合は「ふん」の欄に、液状で処理している場合は「尿」の欄に書きます。鶏は「ふん」の欄だけです。

管理施設（たい肥舎・貯留槽など）の点検と修繕の記録

農場名： _____ 年度： _____

点検日	施設	床・側壁・覆い（屋根）・槽の破損	汚水のもれ・しみ出し	送風装置など装置の動き	施設の外の野積み・素掘り	見つけた異常	修繕した日と内容	点検者
例 2026/4/5	たい肥舎	屋根の一部にすき間	なし	送風機 異常なし	なし	雨の吹き込みで床がぬれていた	4/12 屋根板を張り替え	山田

- 管理基準では、家畜排せつ物を管理施設で管理すること、管理施設を定期的に点検すること、床・覆い・側壁・槽の破損を遅滞なく修繕すること、送風装置などを設けている場合は適切に維持管理することが定められています。点検の間隔は、農場で決めて書いておきます。

堆肥・液肥の持ち出し（経営外への譲渡）の記録

農場名： _____ 年度： _____

年月日	種類（堆肥・液肥・乾燥ふんなど）	量（t・㎡など）	渡した先（氏名・名称）	有償・無償	使い道・使う場所	運んだ人・車両	備考
例 2026/10/2	完熟堆肥	4t	〇〇さん（耕種農家）	無償	水田への土づくり	山田・2tダンプ2回	

- 経営外に出した量を記録しておく、年間の「処理の方法別の数量」（上の②）の割合を見積もりやすくなります。
- 堆肥を他の人に渡す場合は、有償・無償を問わず、肥料の品質の確保等に関する法律による届出が必要です（有償なら販売業者の届出も）。手続きは都道府県の肥料担当の窓口を確認してください。